

1. 科目名（単位 数）	社会的養護Ⅱ／社会的養護内容（2単位）	3. 科目番号	SSOT2416 SCOT2416 JNNT2419 SJMP2125
2. 授業担当教員	中嶋 一郎		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	「社会的養護」を履修してから履修することが望ましい。		
7. 講義概要	社会的養護の基本的内容として、子どもの理解を踏まえた日常生活支援、治療的支援、自立支援を理解する。施設養護と家庭養護それぞれの生活特性と実際を学び、アセスメントと個別支援計画の作成、記録、自己評価ができるようになる。社会的養護に関わる専門技術として、保育の専門性と社会的養護に関わる相談援助の知識と技術とその実践を身に付ける。社会的養護における子ども虐待と家庭支援について学び、今後の課題と展望を理解する。		
8. 学習目標	1. 児童福祉施設における養護の意義を理解し、専門的な支援者としての保育士に必要な認識を身につける。 2. 子どもの成長・発達に果たす養護の意義について学習し、保育士としての役割感覚を身につける。 3. 子どもの最善の利益を意識した支援の実践方法を身につける。 3. 社会的養護に関わる施設の事例分析を行い、利用者理解と事例への洞察力、支援の視点を身につける。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	15回の授業内で、社会福祉への問題意識を高め、主体的な学習ができるように予習を兼ねたアサシメントと、問題へ及び考察を表現するためのレポート課題を行う。 第1回の授業開始までに「児童の有する権利」についてまとめたレポートを作成しておくことを強く望む。 (字数は任意)		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 吉田眞理(編著)『児童の福祉を支える 演習 社会的養護内容』萌文書林		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1.児童福祉施設における養護の意義を理解し、支援者としての保育士に必要な認識力を身につけられたか。 2.子どもの成長・発達に果たす養護の意義について学習し、保育士としての役割感覚を身につけられたか。 3.子どもの最善の利益を意識した支援の実践方法を身につけられたか。 4.社会的養護に関わる各施設における事例分析を行い、利用者理解と支援方法、及び支援に関する具体的方 策を考察出来たか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・レポート 総合点の45％ 2 期末試験 総合点の40％ 3 日常の学習状況 総合点の15％		
12. 受講生への メッセージ	携帯電話等の使用や私語等を慎むことは、守るべきマナーです。(減点の対象) 授業等で不満があれば個人的に受け付けておりますので、いつでもご相談ください。 自分の意見を持つことは、共に学ぶ学友との相互理解を深めるための道具です。自分の意見はワークシートにまとめ、それを元に他人と議論を交わしてください。 (以下、加点の対象) 他の学生を尊重し、その意見をしっかりと受け止めてください。 発表の際には、他の学生に伝わる大きさの声で行ってください。 わからないことがあれば、授業内、外で積極的に質問をしてください。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	社会的養護における児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務① 児童の権利擁護(1)	事前学習	児童の有する権利についてまとめたレポートを作成しておく。テキスト p. 11、p. 20 の事例を熟読しておく。
		事後学習	子どもの最善の利益を踏まえた支援の具体例を考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第2回	社会的養護における児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務② 児童の権利擁護(2)	事前学習	テキスト p. 23、p. 32、p. 37、p. 44 の事例を熟読しておく。
		事後学習	子どもの最善の利益を踏まえた支援の具体例を考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第3回	社会的養護における児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務③ 保育士等の倫理及び責務	事前学習	テキスト p. 56「全国児童養護施設協議会倫理綱領」をまとめたレポートを作成しておく。 テキスト p. 47、p. 57 の事例を熟読しておく。
		事後学習	保育士としての資質と倫理について理解し、バーンアウトを起こさないための職員間の支援について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第4回	施設養護の特性及び実際① 児童養護の体系と児童福祉施設の概要	事前学習	児童養護施設の体系と概要についてまとめたレポートを作成しておく。
		事後学習	児童養護にかかるサービスの種類、及び連携、利用までの手続きを理解し、説明するこ

			とが出来る。
第 5 回	施設養護の特性及び実際② 日常生活支援と諸施設の暮らし(1)	事前学習	テキスト p. 67、p. 72、p. 75、p. 81、p. 84 の事例を熟読しておく。
		事後学習	児童養護施設、乳児院、母子支援施設での支援に対する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 6 回	施設養護の特性及び実際③ 日常生活支援と諸施設の暮らし(2)	事前学習	テキスト p. 87、p. 94、p. 97、p. 100、p. 107、p. 110 の事例を熟読しておく。
		事後学習	医療型障害児入所施設、児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設での支援に対する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 7 回	施設養護の特性及び実際④ 日常生活支援と諸施設の暮らし(3)	事前学習	テキスト p. 113、p. 120、p. 128 の事例を熟読しておく。
		事後学習	福祉型障害児入所施設、里親制度に係る支援に対する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 8 回	保育士の専門性にかかわる知識・技術とその傾向① 保育士の業務、虐待された子どもへの支援	事前学習	入所型社会的養護施設のうち、任意で選択した一つの施設についての業務内容をまとめたレポートを作成しておく。 テキスト p. 141 の事例を熟読しておく。
		事後学習	虐待を受けてきた子どもの支援に関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 9 回	保育士の専門性にかかわる知識・技術とその傾向② 虐待への対応、子どもと家族への支援	事前学習	テキスト p. 151、p. 154 の事例を熟読しておく。
		事後学習	施設内の体罰に係る支援、子どもと家庭への支援に関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 10 回	保育士の専門性にかかわる知識・技術とその傾向③ 児童相談所の連携、虐待した家族への支援	事前学習	テキスト p. 164、p. 167 の事例を熟読しておく。
		事後学習	児童相談所との連携に係る支援、虐待した家族への支援に関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 11 回	保育士の専門性にかかわる知識・技術とその傾向④ ソーシャルワークの技術活用、アドミッションケア	事前学習	テキスト p. 167、p. 175 の事例を熟読しておく。
		事後学習	入所から退所後に至る支援に関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 12 回	保育士の専門性にかかわる知識・技術とその傾向⑤ リビングケア、アフターケア	事前学習	テキスト p. 188、p. 197 の事例を熟読しておく。
		事後学習	入所から退所後に至る支援に関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 13 回	今後の課題と展望① 施設の小規模化と地域連携	事前学習	テキスト p. 208 の事例を熟読しておく。
		事後学習	グループホームにおける個別ケアに関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 14 回	今後の課題と展望② 施設の小規模化と地域連携	事前学習	テキスト p. 211、p. 220 の事例を熟読しておく。
		事後学習	地域とのかかわり、地域と施設の関係に関する事例について考察し、自分の意見を説明することが出来る。
第 15 回	まとめ 社会的養護の施設で働くということ	事前学習	今までの授業で印象に残った事例を一つあげて、なぜ印象に残ったのかという理由をまとめたレポートを作成しておく。
		事後学習	保育士として働いてみたい施設に関する知識とそこでの支援に関する留意点をまとめて説明出来る。
期末試験			
内容については、15 回の授業で行った内容から記述形式で問題を作成する。 資料の持ち込みに関しては、授業で使ったコマシラバスと配布資料に関しては可。 ※遠隔授業が続いた場合においては、期末試験をレポート形式で実施する。			